

福知山堤防愛護会に由良川の事業説明を行いました

～治水の歴史や施設の役割、法川排水機場の施設も見学頂きました～

－福知山河川国道事務所－

65年以上に及ぶ活動の歴史があり、定期的に河川堤防の清掃等も行って頂いている組織である福知山堤防愛護会の希望を受け、福知山堤防愛護会の方に由良川の事業説明を実施しました。

今回の説明会では、事業の概要や洪水・治水の記録、福知山市街地を守る岩沢堤の成り立ちを説明するとともに、緊急治水対策、総合的な治水対策(国、府、市の連携)の進捗状況について理解を深めて頂きました。また、法川排水機場にて増強が完成したポンプ施設を見て頂き、ポンプや除塵機の仕組みを説明しました。

【説明会概要】

○開催日時：令和元年7月30日(火) 15:00～16:30

○場所：福知山河川国道事務所 大会議室
法川排水機場

○参加者：福知山堤防愛護会 11名

位置図



洪水・治水の記録、河川事業概要の説明

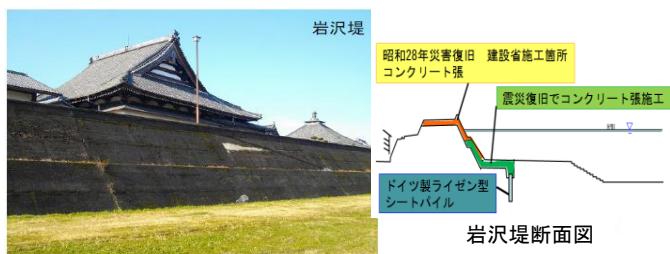


法川排水機場全体概要の説明

岩沢堤

明治40年の洪水の災害復旧工事として、明治42年に福知山の市街地を守る大堤防が完成しました。

この福知山大堤防は、昭和2年の北丹後地震によって各所に亀裂や陥没が生まれました。その復旧にあたっては、堤脚部にドイツ製鋼矢板を打ち込んだ強固な堤体が造られました。担当した技官、岩沢忠恭の名をとって「岩沢堤」と呼ばれます。



岩沢堤断面図

【福知山堤防愛護会の方からの感想】

○河川事業の概要について理解が進んだ。

○法川排水機場の増強現場を視察でき、大変良かった。



発電設備の説明



法川排水機場増強工場の説明

福知山堤防愛護会とは

福知山市は古くから由良川の氾濫に悩まされてきました。その地域柄、堤防等の治水事業に対する関心が高く、地元自治会等(市民)により福知山堤防愛護会が昭和29年に結成されました。(現在、4学区79自治会で構成されている。)

堤防愛護会では、河川堤防清掃など日々の維持管理にもご尽力賜っていただいている他、日本唯一堤防をご神体とする堤防神社で神事を行う「堤防まつり」を毎年行い、長年にわたり治水事業の進展と堤防の愛護と感謝を訴えています。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 調査課

〒620-0875 福知山市字堀小字今岡2459-14 TEL 0773-22-5104

